

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	姫路福祉保育専門学校
設置者名	学校法人姫路文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科		80単位	7単位	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

姫路福祉保育専門学校ホームページ <http://www.himefuku.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	姫路福祉保育専門学校
設置者名	学校法人姫路文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学生が各講義の方針、内容を事前に把握し、主体的に学ぶ姿勢を育成するためにシラバスを作成している。 具体的には、科目名、担当教員名、単位数、開講時期、授業概要、到達目標、評価方法、使用教材等の情報を掲載している。 作成にあたってはPDCAサイクルを用いている。 (参考) PLAN : 目標設定 DO : 単位の実質化(授業運営や成績評価基準を明確にする) CHECK : 成績評価の厳格化 ACTION : 教育内容・方法及び教育課程編成、組織運営全体の改善 公表にあたっては、授業開始時に学生に配布し周知するとともに、ホームページに掲載している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第20条【学習の評定】及び教務規程第8条(成績評価・評定)の規定に基づき、定期試験、出席状況、履修態度、実習実技の成果及びレポート、作品の成果等を総合的に評価する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

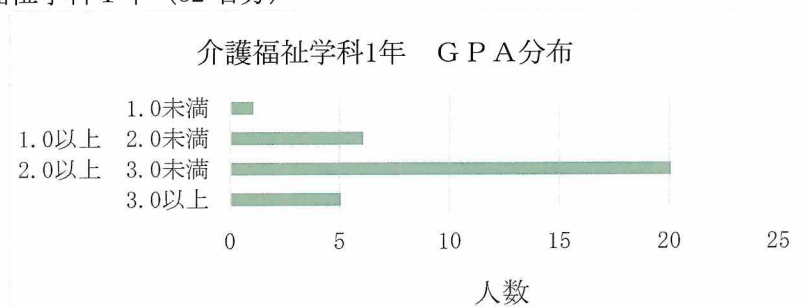
学則第20条【学習の評定】及び教務規程第8条（成績評価・評定）に基づき学習成果を評価する。

評定に関しては、全職員で学生個々について協議し、職員会議において報告・決裁の手順を踏み決定している。

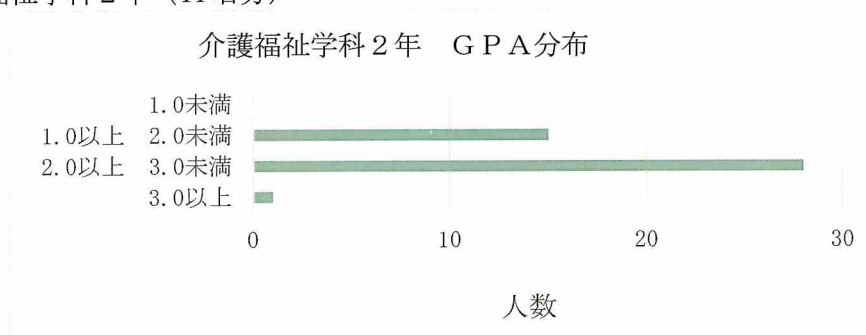
本方針を、学生便覧及びホームページに掲載し、周知徹底を図っている。

成績の分布を表す資料（7年度分）

介護福祉学科1年（32名分）



介護福祉学科2年（44名分）



客観的な指標の
算出方法の公表方法

姫路福祉保育専門学校ホームページ
<http://www.himefuku.ac.jp>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則第22条【卒業】及び教務規程第7条（卒業）に基づき、卒業認定をおこなっている。

本方針は学生便覧及びホームページに掲載し、周知徹底を図っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

姫路福祉保育専門学校ホームページ
<http://www.himefuku.ac.jp>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	姫路福祉保育専門学校
設置者名	学校法人姫路文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	姫路福祉保育専門学校ホームページ http://www.himefuku.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	125単位	75単位	35単位	15単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		72人	69人	6人	14人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、福祉（介護）・医療・教育機関等との連携を通じて、必要な情報の把握・分析を行い、別紙のとおりのカリキュラムを作成し、実施している。また、近年増加傾向にある留学生にも理解しやすい視覚教材などを多用して対応している。
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第20条に規定する【学習の評定】及び教務規定第8条に規定する（成績評価・評定）に基づき、各科目の出席基準を満たした場合に行う定期試験（前期・後期）の素点により評価を行う。尚、教科担当の裁量により出席状況及び平常学習の評価等を考慮することができる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則第22条に規定する【卒業】及び教務規定第5条に規定する（進級）に基づき、所定の科目を履修し、単位の修得を認定された者について、校長が認定を行う。

学修支援等
(概要) 「介護予防講座」、「認知症介護研修」、「ケアマネージャー試験対策講座」、「一人浴特別講座」や「園芸療法講座」「音楽療法」及び「国試対策講座」など、年間を通じて実施し、さらにスキルアップが図れるように卒業生のみならず、地域の福祉現場職員にも研修の場を提供している。また、留学生の日本語能力向上のための補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	0人 (%)	44人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉施設・障がい者福祉施設			
(就職指導内容) 学生の就職希望に基づき、各学生の特性を踏まえ、習得した技術を活かせる施設を紹介し、見学・面接につなげる。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士（国家試験受験資格）・社会福祉主事・介護予防運動指導員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	1人	1.2%
(中途退学の主な理由) 母親の体調不良により帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な個別面談（必要に応じて保護者との面談）		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科	200,000 円	800,000 円	180,000 円	実習費 80,000 円 施設設備費 100,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
姫路福祉保育専門学校 HP http://www.himefuku.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
「学校関係者評価基本方針」「専修学校における学校評価ガイドライン (文部科学省)」等の資料に基づき、「学校自己評価報告書 (令和7年度)」について、各評価項目における現状、課題、改善策について検討・報告を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神戸常盤女子大学常任教授	R7. 4. 1～R9. 3. 31	学識経験者
大阪コミュニティワーカー専門学校	R7. 4. 1～R9. 3. 31	専門学校 校長
社会福祉法人よいこの広場福祉会	R7. 4. 1～R9. 3. 31	社会福祉法人 理事
介護老人保健施設マリア・ヴィラ	R7. 4. 1～R9. 3. 31	介護福祉学科卒業生
特定非営利活動法人ちゃま	R7. 4. 1～R9. 3. 31	保育こども学科卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
姫路福祉保育専門学校ホームページ http://www.himefuku.ac.jp		
(備考)		
第三者評価は未実施である為、学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 姫路福祉保育専門学校ホームページ http://www.himefuku.ac.jp
